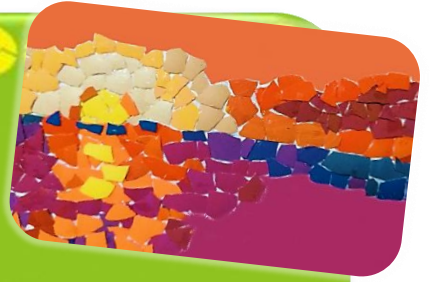


2月 子どもアート教室

モザイクアート

～たまごのカラーを使って描こう～



みなさんは、生活の中で使い終わったものはすぐにゴミ箱に捨てていませんか？

じつは、ゴミとおもっているものでも工夫すればもう一度使うことができます。

今回は、たまごのカラーを使ってモザイクアートを作ってみましょう！

モザイクアートとは

いしやガラスなど硬い物を砕いて、貼り付けて作られた絵や模様のことです。

たてものゆかかべかざにつかわれて
います。

みぎえをよくみみてみてください。

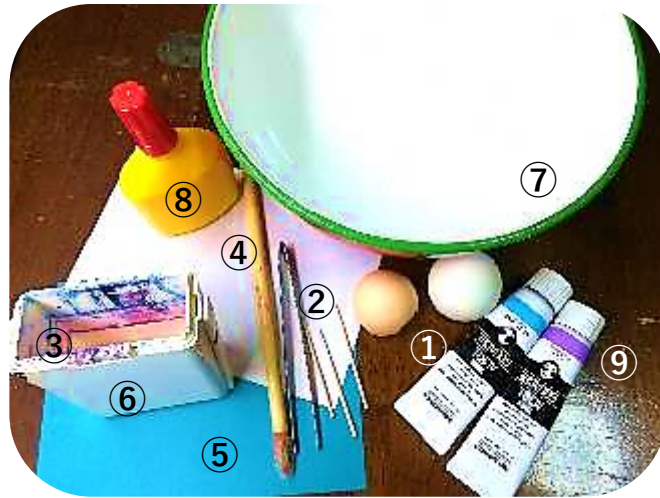
いろいろないろかたちいしのかげらを貼り
つけることで、うさぎのえがつくられて
います。



きゅうしゅうさんぎょうだいがく 九州産業大学
がくせいさく 学生作

じゅんび 準備するもの

- ① たまごのカラ ② ピンセット、つまようじ(作品を作る時にあれば便利)
- ③ 水みず ④ 筆ふで ⑤ 画用紙がようし (はがきサイズくらいがちょうどいい)
- ⑥ 筆を洗う容器ふであらようき ⑦ ボウル ⑧ ボンド (みずのりでも可か)
- ⑨ 絵の具えぐ (アクリル絵の具の方が水に強く、色も落ちにくい。水彩絵の具でも可か)



つく はじ まえ じゅんび 作り始める前の準備

たまごのカラをよく洗って薄皮うすかわをはがし、乾かします。

これが薄皮うすかわ
だよ！



ボウルにたまごのカラを1時間くらい水みずにつけ、薄皮うすかわとカラの間に水あいだみずを入れるようにすると、薄皮うすかわをきれいにはがせます。

つく かわ 作り方



絵の具をたまごのカラに直接
つけて塗るとパレットを
掃除しなくて済むよ！



① 画用紙に下絵を描きます。

② しっかり乾いた たまごのカラの表面に、アクリル絵の具で色を塗ります。

アクリル絵の具は、あまり水を加えずに使うときれいに塗ることができます。色は、同じ色でも濃くしたり薄くしたり少しずつ変えて塗ると、本物のモザイクアート作品のように作ることができます。

色を塗ったらたまごのカラを新聞紙やキッチンペーパー、ぞうきんなどの上でしっかり乾かします。



③ たまごのカラを割って色ごとに分けます。

片手だと危ないので、両手でたまごを割りましょう。

色分けには小さなトレーがあると便利です。

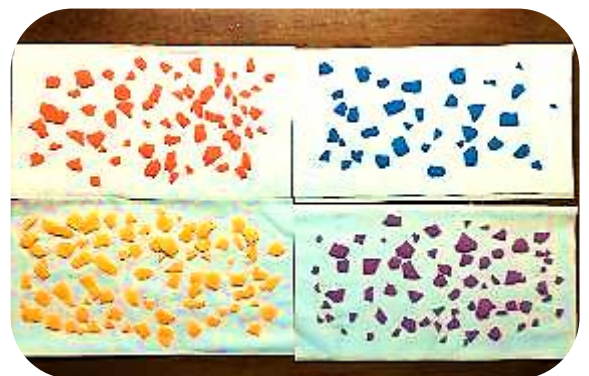
画像では、ティッシュの上で色分けをしています。

<カラを割るポイント>

- ・サイズのめやすは、5mm～1.5cm角ぐらい。
- ・2～3mm ぐらいの、ほとんど粉のようになってしまったカラも必要になるので、大事にとっておきましょう。

・割る形は三角形や台形など、なるべく色々な

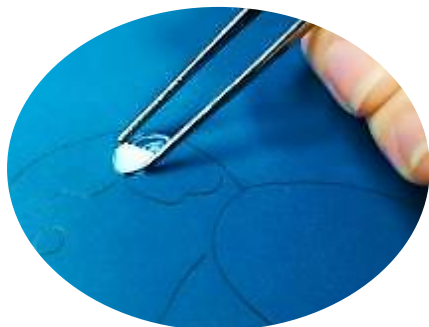
形になるように割るといいでしょう。



④ 下絵にボンドやみずのりを使って、たまごのカラーを貼り付けます。

下絵に直接ボンドやみずのりをつけると、たまごのカラーを早く貼ることができます。

ボンドやみずのりは、時間が経つと乾くので少しずつ下絵につけましょう。



ピンセットがある場合は、ピンセットを使うと楽に貼ることができます。貼り付けた時に、たまごのカラーが浮いていたら指で押してつぶすと、きれいに貼り付けることができます。



小さいたまごのカラーは、つまようじの先にボンドやみずのりをつけて貼ると作りやすいです。



かんせい
完成！！

下絵に沿って、たまごのカラーをしきつめて貼り付けたら完成です。

たまごのカラーの上からニスをつけると色はがれにくくなり、ツヤがでます。ニスをつける場合は、窓を開けて空気を入れ替えながら行いましょう。